

令和5年度

事業報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日



社会福祉法人日高市社会福祉協議会

目次

令和5年度事業報告

1 社会福祉事業区分 1

- (1) 地域福祉事業拠点区分
 - ① 法人運営事業
 - ② 地域福祉推進事業
 - ③ ボランティアセンター活動事業
 - ④ 共同募金配分金事業
 - ⑤ 生活福祉資金貸付事業
 - ⑥ 福祉資金貸付事業
 - ⑦ 福祉サービス利用援助事業
 - ⑧ 障がい者相談支援事業
- (2) ヘルパーステーション拠点区分
 - ① 訪問介護等事業
 - ② 障がい福祉サービス事業
- (3) 総合福祉センター管理・経営事業拠点区分
- (4) こまのさと作業所拠点区分
- (5) ファミリーサポートセンター拠点区分

2 公益事業区分 35

- (1) 地域包括支援センター拠点区分
- (2) 障がい者就労支援センター拠点区分
- (3) 生活困窮者自立支援事業拠点区分
 - ① 生活困窮者自立相談支援事業
 - ② 生活困窮者就労準備支援事業
 - ③ 生活困窮者家計改善支援事業
- (4) 生活支援体制整備事業

令和5年度

事業報告

社会福祉事業区分

社会福祉事業	
I 地域福祉事業	
1 法人運営事業	担 当 地域福祉課企画総務担当
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
<p>(1) 法人の組織運営</p> <p>法人運営のルールを定めた定款・諸規程において、改正を要するものを中心に整理を進めます。</p> <p>① 理事会の開催</p>	<p>(1) 法人の組織運営</p> <p>法人の使命・理念にもとづき、事業を適正かつ効果的に実施するため、次の業務を行いました。</p> <p>① 理事会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回理事会（理事定数11名、出席理事11名、監事1名） 令和5年5月25日（木） 総合福祉センター 議案第1号 令和5年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の同意について 議案第2号 役員等賠償責任保険契約について 議案第3号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第4号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について 議案第5号 令和4年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業報告並びに資金収支決算の承認について 議案第6号 令和5年度第1回評議員会（定時評議員会）の開催について ・第2回理事会（理事定数11名、出席理事10名、監事1名） 令和5年6月14日（水） 総合福祉センター 議案第7号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の選定について ・第3回理事会（理事定数11名、出席理事7名、監事1名） 令和5年8月23日（水） 総合福祉センター 議案第8号 児童遊園地遊具に関する基本方針について 議案第9号 修繕積立資金の処分について 議案第10号 令和5年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の同意に

ついて

議案第11号 消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の登録について

議案第12号 令和5年度第2回評議員会の開催について

報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について

- ・第4回理事会(理事定数11名、出席理事10名、監事0名)

令和6年1月16日(火) 総合福祉センター

議案第13号 令和5年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)の同意について

議案第14号 令和5年度第3回評議員会の開催について

- ・第5回理事会(理事定数11名、出席理事10名、監事1名)

令和6年3月11日(月) 総合福祉センター

議案第15号 令和5年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算(第4号)の同意について

議案第16号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について

議案第17号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会職員就業規則の全部改正について

議案第18号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会非常勤ヘルパーの雇用等に関する就業規則を廃止する規則について

議案第19号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会有期契約職員就業規則の全部改正について

議案第20号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の制定について

議案第21号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の全部改正について

議案第22号 役員等賠償責任保険契約について

議案第23号 令和6年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算の同意につ

② 評議員会の開催

法人の業務に関する重要事項を決定します。

いて

議案第24号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会
評議員選任候補者の推薦について

議案第25号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会
評議員選任・解任委員会の開催について

議案第26号 令和5年度第4回評議員会の開催に
ついて

報告第2号 日高市総合福祉センター浴室におけ
るレジオネラ属菌検出にかかる対応について

報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況に
ついて

② 評議員会の開催

- ・第1回定時評議員会（評議員定数25名、出席評議員18名、監事1名）

令和5年6月14日(水) 総合福祉センター

議案第1号 令和5年度社会福祉法人日高市社会
福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の承認に
ついて

議案第2号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会
理事及び監事の選任について

議案第3号 令和4年度社会福祉法人日高市社会
福祉協議会事業報告並びに資金収支決算の承認に
ついて

- ・第2回評議員会（評議員定数25名、出席評議員12名）

令和5年9月7日(木) 総合福祉センター

議案第4号 児童遊園地遊具に関する基本方針に
ついて

議案第5号 修繕積立資金の処分について

議案第6号 令和5年度社会福祉法人日高市社会
福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の承認に
ついて

議案第7号 消費税の適格請求書等保存方式（イ
ンボイス制度）の登録について

- ・第3回評議員会（評議員定数25名、出席評議員16名）

令和6年1月30日(火) 総合福祉センター

議案第8号 令和5年度社会福祉法人日高市社会

福祉協議会資金収支補正予算（第3号）の承認について

- ・第4回評議員会（評議員定数25名、出席評議員15名）

令和6年3月27日（水） 総合福祉センター

議案第9号 令和5年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第4号）の承認について

議案第10号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について

議案第11号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会就業規則の全部改正について

議案第12号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会非常勤ヘルパーの雇用等に関する就業規則を廃止する規則について

議案第13号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会有期契約職員就業規則の全部改正について

議案第14号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の制定について

議案第15号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の全部改正について

議案第16号 令和6年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算の承認について

議案第17号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会理事の選任について

報告第1号 日高市総合福祉センター浴室におけるレジオネラおけるレジオネラ属菌検出にかかる対応について

③ 監査の実施

業務執行の状況及び法人の財政の状況を監査します。

④ 三役会議の開催

法人の重要事項の事前協議等を行います。

③ 監査の実施

- ・令和4年度事業及び決算に関する監査

令和5年5月17日（水） 総合福祉センター

④ 三役会議の開催

- ・第1回 令和5年4月19日（水） 総合福祉センター協議事項 ①第42回福祉スポーツ大会実施要領（案）について

②職員採用試験の実施について

	<p>報告事項 ①各課・センター報告（以下毎月） ②寄付の受入状況について（以下毎月）</p> <p>・第2回 令和5年5月15日（月） 総合福祉センター協議事項 ①第1回理事会、第1回評議員会（定時評議員会）議案について</p> <p>・第3回 令和5年6月14日（水） 総合福祉センター協議事項 ①社協会員会費の募集について</p> <p>報告事項 ①第42回福祉スポーツ大会実績報告</p> <p>・第4回 令和5年7月27日（木） 総合福祉センター協議事項 ①児童遊園地遊具の対応に関する基本方針について</p> <p>・第5回 令和5年8月18日（金） 総合福祉センター協議事項 ①第3回理事会議案について</p> <p>・第6回 令和5年9月20日（水） 総合福祉センター協議事項 ①第37回日高市社会福祉大会開催並びに表彰者の選定について</p> <p>報告事項 ①第16回あいあいまつりの開催について</p> <p>・第7回 令和5年10月19日（木） 総合福祉センター協議事項 ①第37回日高市社会福祉大会について ・プログラムについて</p> <p>報告事項 ①令和5年度全国・埼玉県社会福祉大会表彰について ②令和5年度社会福祉協議会会員会費実績について ③第16回あいあいまつり開催実績報告</p> <p>・第8回 令和5年11月8日（水） 総合福祉センター協議事項 ①第4次日高市地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）について</p> <p>報告事項 ①赤い羽根共同募金について ②第37回日高市社会福祉大会プログラム最終稿（配付のみ）</p> <p>・第9回 令和5年12月19日（火） 総合福祉センター協議事項 ①第4回理事会（令和6年1月16日開催）議案について</p> <p>・第10回 令和6年1月15日（月） 総合福祉センター協議事項 ①令和5年度第4回理事会議案について ②機構改革について</p>
--	---

⑤ 財源確保の促進

ア 区・自治会、事業所等の協力を得て会員を募集します。

イ 寄付金の受入れを行います。

ウ 不要な入れ歯や使われないアクセサリーの回収を行います。

(2) 総務・経理業務

① 会計処理の適正化

予算実績管理支援、職員向け FQA 充実

報告事項 ①課長昇任試験・正職員登用試験について
・第11回 令和6年2月20日(火) 総合福祉センター

協議事項 ①令和6年度事業計画案について

報告事項 ①総合福祉センター浴室でのレジオネラ菌発生について

・第12回 令和6年3月4日(月) 総合福祉センター
協議事項 ①令和5年度第5回理事会議案について

②職員採用試験の実施について

⑤ 財源確保の促進

ア 社協会員の募集

会員加入増強期間(7月~8月)を中心に、住民への啓発を促進するとともに、福祉委員(区長)等の協力を得て啓発に努めました。

区分(年額)	令和5年度実績額	対前年比
一般会員(500円)	3,854,500円	△135,500円
賛助会員(2,000円)	206,000	△36,000円
特別会員(10,000円)	530,000円	10,000円
合計	4,590,500円	△161,500円

イ 寄付金の受入れ

地域住民、事業所、団体等からお寄せいただいた寄付金は、合計41件、総額2,224,237円でした。

ウ 不要入れ歯とアクセサリーの回収

日高市役所、総合福祉センター高麗の郷に設置されている回収ボックスより回収を行い、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会へお渡ししました。

収益金37,074円は、日本ユニセフ協会、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会、日高市社会福祉協議会へそれぞれ寄付されました。

日高市社会福祉協議会への寄付は、14,830円でした。

(2) 総務・管理業務

① 会計処理の適正化

今年度も企画総務担当が会計処理を行うとともに、各課・センターの出納責任者へ予算執行状況を伝達す

② 総務業務の適正化

備品管理、車両管理、PC管理、情報管理

③ 広報の充実

広報紙の編集発行、ホームページ運営

(3) 人事・給与業務

① 研修事業の実施(適宜)

② 人事・給与システムの運用

③ 能力評価・業績評価の実施

④ 福利厚生事業

(予防接種費用の独自補助、職場健診)

⑤ 職場の安全衛生

(産業医、安全衛生管理業務)

(4) 地域支援業務

① 窓口対応などの接客対応の品質向上

ることで予算実績管理及び会計処理の適正化を図ることができました。

② 総務業務の適正化

備品管理やPC管理については、管理簿への記入や盗難防止に努め、車両の管理については、保険加入等、適正に実施することが出来ました。

③ 広報の充実

広報紙は年3回(7月号・10月号・3月号)発行し、ホームページ運営についても必要に応じて適宜情報を更新しました。

(3) 人事・給与業務

① 研修事業の実施(適宜)

令和5年6月12日(月)総合福祉センター職員全体研修として、「ハラスメント研修」を実施しました。

② 人事・給与システムの運用

システム運用に向けて、社会保険労務士と顧問契約し、就業規則等を作成しました。

③ 能力評価・業績評価の実施

実施要領を整備し、契約職員を含め能力評価を実施しました。

④ 福利厚生事業

職場健診は、協会けんぽの補助を利用し、10月～11月の期間内において計画的に受診することが出来ました。

インフルエンザの予防接種は任意接種とし、接種した職員に対して5,000円を上限に補助しました。

⑤ 職場の安全衛生

(産業医、安全衛生管理業務)

産業医、安全衛生管理者の選任において、衛生管理者の資格保有者が必要なことから、選任には至りませんでした。

(4) 地域支援業務

① 窓口対応などの接客対応の品質向上

朝礼での報告(ブリーフィング)の実施や、業務日誌の回覧を通じて窓口担当者との情報共有を行い、接客対応の品質向上を図りました。

② 後援名義使用許可対応、共催事業の支援

② 後援名義使用許可対応、共催事業の支援
令和5年度後援名義許可件数 14件
共催事業の支援はありませんでした。

③ 中学生職場体験の受け入れ

地域に開かれた法人運営の取組として、中学校の職場体験先として協力し、受け入れを行いました。
(期間)令和5年11月28日(火)～11月30日(木)
(受入)武蔵台小中学校7年生 生徒3名

【成果と課題】

社協会員会費は、令和5年度も前年度と同様に各世帯をはじめ、法人や事業所からも会員加入をしていただきました。しかしながら、会員数は年々減少しているため、社協を知っていただき、会員になっていただけるようなPRをどのようにしたら良いかを考えていくことが課題です。

また、昨年度から社会保険労務士と進めていた就業規則が完成し、職員全体へのハラスメント研修も実施することが出来ました。

2 地域福祉推進事業	担 当	地域福祉課・相談支援課
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
<p>(1) 地域支え合い体制の構築</p> <p>学校区を住民主体地域活動圏域として、地域支え合い体制の構築を支援します。</p> <p>① CSWの強化と体制整備</p> <p>② 地域支え合い体制の強化</p> <p>学校区における地域福祉推進組織体制づくりについては、武蔵台、高根の2つの学校区をモデル地域として選定しており、活動基盤の強化に向けた対応を順次進めます。</p> <p>③ 日高市民生委員・児童委員協議会との連絡調整</p> <p>(2) 日高市地域支え合い事業</p> <p>① 地域おたすけ隊運営支援</p> <p>ア 運営支援（保険・通信・体制整備）</p> <p>イ コーディネーター会議の開催（年4回）</p> <p>ウ 運行管理委任自動車の整備</p> <p>エ 付き添い移送支援に関する協議・検討</p> <p>② 地域支え合い協力店に関する</p>	<p>(1) 地域支え合い体制の構築</p> <p>① CSWの強化と体制整備</p> <p>2名のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域における個別支援と地域づくりを推進しました。</p> <p>② 地域支え合い体制の強化</p> <p>地域福祉を推進する組織の在り方を検討するために選定したモデル地区（武蔵台、高根）での具体的な協議を進めることができませんでした。それぞれの地域で開催される各種会議へ参加して、地域における活動の実態把握に努めました。</p> <p>③ 日高市民生委員・児童委員協議会との連絡調整</p> <p>日高市民生委員・児童委員協議会からの依頼により、地域支え合いや地域福祉活動計画をテーマとした研修会や福祉に関する出前講座に対応しました。</p> <p>(2) 日高市地域支え合い事業</p> <p>① 地域おたすけ隊運営支援</p> <p>ア 運営支援（保険・通信・体制整備）</p> <p>イ コーディネーター会議の開催（年6回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和5年4月13日（木） ・第2回 令和5年7月13日（木） ・第3回 令和5年10月12日（木） ・第4回 令和5年12月14日（木）※臨時会 ・第5回 令和6年1月11日（木） ・第6回 令和6年2月9日（木）※臨時会 <p>ウ 運行管理委任自動車の整備</p> <p>地域おたすけ隊による運転を伴う付添活動を支援するため、委託団体との間で社協所有車輛（3台）の運行管理業務を委任し、活動に使用する車輛を提供することで活動を支援しました。</p> <p>エ 付き添い移送支援に関する協議・検討</p> <p>コーディネーター会議において臨時会議を設定し、付き添い移送支援の課題や今後の進め方について協議を行いました。</p> <p>② 地域支え合い協力店に関する事務</p>	

事務

ア 登録管理

イ 地域商品券精算処理

- ③ 地域支え合いの財源確保の強化
自動販売機設置等の促進

(3) 地域支え合い活動への助成

- ① 福祉のまちづくり活動助成金
ア 連絡会設置補助金

イ 福祉のまちづくり活動助成金

(4) 市民生活支援事業（地域における公益的な取組）

- ① 福祉用具の貸出
- ② 福祉自動車の貸出
障がい者や難病の人などの外出を支援するため、福祉自動車の車両を貸し出します。
- ③ 印刷機の貸出

(5) 法人としての社会貢献活動、新たなニーズへの対応

ア 登録管理

地域商品券を発行、管理し、利用できる協力店の拡大を図りました。

イ 地域商品券精算処理

年間換金取扱金額 6,935,100 円(前年比 968,500 円増)

- ③ 地域支え合いの財源確保の強化
自動販売機（1台）を設置し、財源の確保に努めました。

(3) 地域支え合い活動への助成

- ① 福祉のまちづくり活動助成金
ア 連絡会設置補助金

身近な地域における組織的なたすけあい活動を促進するため、福祉のまちづくり連絡会の運営を支援しました。

- ・こま武蔵台福祉のまちづくり連絡会
- ・宮前福祉のまちづくり連絡会

イ 福祉のまちづくり活動助成金

区・自治会を範囲とする地域福祉活動の振興等を目的に助成金を交付しました。

【助成実績一覧】

内訳	令和5年度	前年比
助成決定件数	48 件	17 件
助成金交付総額	765,700 円	256,100 円
特別助成件数(円)	0 件(0 円)	△ 5 件(△139,600 円)

(4) 市民生活支援事業（地域における公益的な取組）

① 福祉用具の貸出

内訳	令和5年度	前年比
福祉用具の貸出	40 件	△12 件

② 福祉自動車等の貸出

内訳	令和5年度	前年比
福祉自動車の貸出	60 件	△ 3 件
その他車両の貸出	6 件	△ 5 件

③ 印刷機の貸出（再掲）

市内のボランティア団体等に印刷機の貸出を 42 件行いました。

(5) 法人としての社会貢献活動、新たなニーズへの対応

① 彩の国あんしんセーフティネット事業への協力

制度の狭間にある生活問題へ対応するため、社会貢献活動費を拠出して取組に協力します。

② 自閉症・発達障がい啓発事業への協賛及び実行委員会への参加協力

③ ひきこもりに関する啓発事業の実施協力【新規】

(6) 第4次日高市地域福祉活動計画(5カ年計画)策定

行政との協働により、令和6年度を始期とする日高市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画を策定します。

① 彩の国あんしんセーフティネット事業への協力

生活困窮者自立相談支援事業の受託と併せ、生活困窮者支援体制の充実を図るため、社会貢献活動費を拠出し、現物給付等の支援を実施しました。

【支援件数】

支援の区分・件数	給付金額等
制服代 1件	55,110円
光熱水費 2件	56,783円
衣類 1件	2,723円
交通費 1件	1,400円
食費 2件	22,327円
入浴・ヘアカット 1件	2,070円
家賃 1件	66,830円

② 自閉症・発達障がい啓発事業への協賛及び実行委員会への参加協力

(総合福祉センターライトアップの実施)

・令和6年4月1日(月) 午後5時30分から7時

③ ひきこもりに関する啓発事業の実施協力【新規】

関係者との協働により、ひきこもりや自殺などをテーマとした講演会を開催しました。

・名称 「生きるを応援する」講演会

・日時 令和5年7月9日(日)

・会場 総合福祉センター

・講師 須田 誠氏(東京未来大学教授)

・参加者 116名

(6) 第4次日高市地域福祉活動計画(5カ年計画)策定

行政と協働により、地域福祉計画及び地域福祉活動計画を策定しました。

【成果と課題】

彩の国あんしんセーフティネットによる現物支給を必要とする案件が増加しました。生活困難者への支援の重要性が高まっています。

また、第4次計画にもとづき、従来からの地域福祉実践と併せて重層的支援体制の構築に向けた取組が重要となります。

3 ボランティアセンター活動事業

担 当

地域福祉課地域福祉担当

令和5年度事業計画・概要

(1) ボランティア・市民活動支援センター運営事業

① ボランティアコーディネーターの設置

② 運営のための準備会の開催【新規】

③ 情報発信の強化

SNSを活用し、ホームページや日高ボランティアネットと連動した情報発信の強化を図ります。

④ ボランティア活動相談

ボランティアサポーターズクラブと協働による相談窓口を開設します。

⑤ ボランティア登録・保険加入事務

登録によりボランティアへ必要な情報を提供するとともに、活動への安心感を高めるため保険加入手続を行います。

⑥ ボランティア活動支援

ア 運転ボランティア活動支援

イ 保育ボランティア活動支援

事業実施結果・成果と課題

(1) ボランティア・市民活動支援センター運営事業

① ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーター（1名）を設置し、ボランティア・市民活動支援センターの運営の補助を行いました。（年度途中から欠員）

② 運営のための準備会の開催

運営会議準備会の開催には至りませんでした。

③ 情報発信の強化

SNSやGoogleフォームなどを活用したボランティア情報発信やボランティア等の受付方法の効率化を図りました。

④ ボランティア活動相談

ボランティアサポーターによる活動紹介、相談コーナーをボランティア・市民活動センター内に開設し、ボランティアに関心のある人への活動紹介等を行いました。

⑤ ボランティア登録・保険加入支援

【ボランティア登録状況】

区 分		令和5年度	前年比
個人	一 般	25人	△6人
	災 害	6人	一人
団体	登録数	109団体	1団体
	人 数	2,612人	△13人

⑥ ボランティア活動支援

ア 運転ボランティア活動支援

【運転ボランティア活動実績】

区分	令和5年度	前年比
活動件数	2件	△6件
利用者数	6人	△11人
活動者数	2人	△6人

イ 保育ボランティア活動支援

保育サポーターグループ「ひだまりっ子」を下記の日程で派遣調整しました。

- ・令和5年6月14日(水) 高萩小PTA
- ・令和5年7月8日(土) スコラボ日高

- ウ 点字用具の整備
- エ 声のおたより活動の支援
- オ ガイドヘルプボランティア活動支援
- カ 傾聴ボランティア活動支援

- キ 地域食堂（子ども食堂）支援
- ⑦ 機材・レクリエーション用具の貸出

(2) ボランティア体験学習事業

- ① 彩の国ボランティア体験プログラムの実施

② ボランティア講座の開催

- ア ボランティア入門講座【新規】

- イ 朗読ボランティア養成講習会

- ウ 傾聴ボランティア養成講座

・令和5年9月6日(水) 高萩小PTA

- ウ・エ・オ

点字用具の整備及び声のおたより活動、ガイドヘルプボランティア派遣等を通じて、視覚障がいのある人への支援を促進しました。

- カ 傾聴ボランティア活動支援

コロナで中止していた個人宅傾聴の活動再開の支援や、施設とボランティアをオンラインでつなぎ、入所されている人への傾聴活動を支援しました。

- キ 地域食堂（子ども食堂）支援

- ⑦ 機材・レクリエーション用具の貸出

ボランティア団体等が研修等を実施する際に必要な機材やレク用品の貸出を行いました。

(2) ボランティア体験学習事業

- ① 彩の国ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動への参加のきっかけとするため、夏休みにボランティア体験の機会を提供しました。

【彩の国ボランティア体験プログラムの実績】

区分	令和5年度	前年比
体験プログラム数	37メニュー	24メニュー
活動参加者数(延べ人数)	196人	24人
※うち学生参加者数	185人	34人

② ボランティア講座の開催

- ア ボランティア入門講座【新規】

・ボランティアサポーターを対象とした講座を開催しました。

- イ 朗読ボランティア養成講座

・開催期間 令和5年9月1日(金)～11月1日(水) ※全9回

・会場 総合福祉センター

・講師 庄野輝子氏

・アシスタント 朗読ボランティアグループ 日高もくせいの会

・受講者 4人

- ウ 傾聴ボランティア養成講座

エ 手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業）

(3) 福祉教育の推進

① 福祉教育プログラムの支援

障害平等研修（DE T）などを通じて新たな障がい理解プログラムづくりに向けた検討を行います。

- ・開催期間 令和5年10月31日(火)～11月6日(月)
- ・会場 総合福祉センター
- ・講師 NPO法人埼玉妙心センター 高倉恵子氏
- ・受講者 5人

エ 手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業）

- ・開催期間 令和5年9月5日(火)～令和6年1月30日(火)※全20回
- ・会場 総合福祉センター
- ・講師 森田登氏
- ・アシスタント 日高市手話サークル「あくしゅ」
- ・受講者 11人

(3) 福祉教育の推進

① 福祉教育プログラムの支援

障害平等研修（DE T）を活用した障がい理解プログラムの普及を図るため、試行的な取組を進めました。

また、学校における福祉教育の取組を支援するため、次表のとおりプログラムの立案の支援に努めました。

【福祉教育プログラム支援の実績】 ※表中の人数は延べ人数

学校名 (学年)	区分	令和5年度	前年比
高麗川小	協力者数	13人	5人
	参加児童数	393人	—人
	時間数	225分	△90分
高萩小	協力者数	13人	1人
	参加児童数	255人	△203人
	時間数	225分	△270分
高根小	協力者数	16人	—人
	参加児童数	115人	29人
	時間数	405分	180分
高萩北小	協力者数	14人	10人
	参加児童数	324人	△71人
	時間数	225分	△225分
武蔵台小	協力者数	7人	—人
	参加児童数	84人	19人
	時間数	180分	45分
合計	協力者数	63人	10人
	参加児童数	1,171人	△405人
	時間数	1,260分	675分

※高麗小学校では実績がありませんでした。

- ② 家族介護教室（市受託事業）
介護について学習できる機会を
企画、実施します。

② 家庭介護教室（市受託事業）

【内容及び実績】

ア 地域包括支援センターと認知症と介護保険制
度について

- ・期 日 ①令和5年6月28日(水)
②令和5年7月12日(水)
③令和5年7月26日(水)
- ・参加者 ①20人、②13人、③14人
- ・講 師 ①高麗川地域包括支援センター
②高萩地域包括支援センター
③高麗地域包括支援センター
- ・会 場 ①総合福祉センター
②高萩公民館、
③武蔵台公民館

イ 介護についての心がまえと介助の基本動作に
ついて

- ・期 日 ①令和5年7月5日(水)
②令和5年7月19日(水)
③令和5年8月2日(水)
- ・参加者 ①16人、②15人、③17人
- ・講 師 ①ヘルパーステーションこまの郷
②③友結会 ふるさとけあ
- ・会 場 ①総合福祉センター
②高萩公民館
③武蔵台公民館

(4) シニアの社会参加促進・ボランティ
ア活動支援事業

- ① ボランティアサポーターの配置
- ② 日高ボランティアネットの運営

(4) シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業

- ① ボランティアサポーターの配置
- ② 日高ボランティアネットの運営
ボランティア情報の発信やマッチングを目的と
したサイトの運営を行いました。

(5) 災害ボランティアに関する活動支
援

- ① 災害ボランティアセンター運営
マニュアル改訂
- ② 災害時の職員派遣

(5) 災害ボランティアに関する活動支援

- ① 災害ボランティアセンター運営マニュアル改訂
運営マニュアルの改訂には至りませんでした。
災害ボランティアセンターに関する周知を図るた
め、市総合防災訓練に出展しました。
- ・日 時 令和5年9月2日(土)

(6) ボランティア活動等支援事業補助金の交付(市補助事業)

ボランティア団体が行うボランティア活動等を支援するため、その活動に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。

② 災害時の職員派遣

派遣協力に至りませんでした。

(6) ボランティア活動等支援事業補助金の交付(市補助事業)

ボランティア団体による地域活性化や地域課題の解決に向けた各種取組に対して助成を行いました。

○決定団体数：13団体

○確定額 886,000円

○内訳(交付決定団体及び金額)

①小さな野草苑の会(55,000円)

②高麗ねこ家(100,000円)

③やまなみ食堂実行委員会(80,000円)

④地域食堂ちやぶ台(70,000円)

⑤日高ママサロン(75,000円)

⑥日高こども食堂(60,000円)

⑦よつばのクローバー(30,000円)

⑧高根応援団(63,000円)

⑨官前クラブ(33,000円)

⑩快サークルコロネット(100,000円)

⑪旭ヶ丘ハッピータウン(100,000円)

⑫こま武蔵台福祉ネット(20,000円)

⑬NPO法人げんきネット武蔵台(100,000円)

【成果と課題】

令和6年1月に発生した能登半島地震による被災地では、息の長い支援を必要としており、本市における災害時の対応を含め、具体的な検討が必要です。

また、福祉教育については、ボランティア活動への参加を通じて、福祉への関心を高めるきっかけともなることから、より多くの人に参加できるような広報啓発活動や支援が必要と考えます。

4 共同募金配分金事業	担 当	地域福祉課、相談支援課
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
<p>(1) 一般募金配分金事業</p> <p>① 福祉スポーツ大会 障がい者がスポーツを通じて健康増進を図るための取組を進めます。</p> <p>② 児童遊園地遊具の整備 児童遊園地遊具の点検し、必要な整備を行います。</p> <p>③ 訪問カットサービス</p> <p>④ 暮らしの安心相談事業 市民に身近な相談窓口を開設します。</p> <p>ア 心配ごと相談 イ 無料法律相談</p> <p>ウ 成年後見制度に関する相談</p> <p>エ 地域活動への参加支援に関する相談【新規】</p> <p>⑤ フードバンクの運営【新規】</p>	<p>(1) 一般募金配分金事業</p> <p>① 福祉スポーツ大会 (第42回) ・実施日 令和5年6月4日(日) ・会 場 文化会館「ひだかアリーナ」 ・参加者数 参加団体 7団体 281人 協力団体 5団体 29人 中学生ボランティア 33人(前日準備含む)</p> <p>② 児童遊園地遊具の整備 老朽化が顕著な遊具が多いことから「児童遊具に関する基本方針」を定め、管理者を対象とした説明会を開催し、施設の撤去や今後の法人としての対応を明確にしました。</p> <p>③ 訪問カットサービス ・利用回数 36回 ・協力店舗数 9店(理容2店、美容7店)</p> <p>④ 暮らしの安心相談事業</p> <p>ア 心配ごと相談(相談支援課) 市民の日常生活における悩みや心配ごとに対する相談を22回実施し、24件の相談がありました。</p> <p>イ 無料法律相談(相談支援課) 市民が抱えている諸問題の解決の糸口とすることを目的とした弁護士による無料法律相談を12回実施し、45件の相談がありました。無料法律相談に関する問い合わせも増加しました。</p> <p>ウ 成年後見制度に関する相談(相談支援課) 成年後見制度の概要説明、利用に関する相談及び関連する制度等の相談など12回実施し、13件の相談がありました。</p> <p>エ 地域活動への参加支援に関する相談【新規】(地域福祉課) ボランティア・市民活動に関心のある人への活動紹介、相談会として、ボランティアサポーターによる相談会を93回実施し、93件の相談対応を実施しました。</p> <p>⑤ フードバンクの運営(相談支援課) 管理システムを導入し、食品や生活用品等の効率</p>	

⑥ 成年後見制度に関するありかた検討会議の開催

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業

① おせち料理の宅配

② サロン活動の支援

③ 地域づくりの支援

ア 交流、健康づくり、相談支援などを複合的に実施する地域活動拠点の運営費等の助成

イ 地域における新たなニーズへの対応や、調査活動などに関する活動の助成（支援付き助成）

的な管理を行いました。

⑥ 成年後見制度に関するありかた検討会議の開催実施に至りませんでした。

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業

① おせち料理の宅配

見守りを必要とする単身高齢者等を対象に、民生委員からの申請によりおせち料理を宅配しました。

(実施日)令和5年12月28日(木)

【配分実績】

区 分	令和5年度	前年比
配分件数	89件	△11件

② サロン活動の支援

身近な地域での居場所づくりを進めるため、サロン活動の運営を支援しました。

(登録活動) ※別表のとおり

③ 地域づくりの支援

ア 地域活動拠点の整備

世代や属性を超えて交流できる場や居場所の確保が進むよう、地域づくり事業の下地としてモデル地域（武蔵台、高根）内の地域活動拠点の整備や充実のため、助成を実施しました。

イ 地域における新たなニーズへの対応や、調査活動などに関する活動の助成

住民相互の有償によるサービス提供を図るため、地域おたすけ隊の設置及び運営を地区ボランティア等に委託して実施しました。また、運転付き添いの活動者に安心して支援に参加していただくため運転協力者講習会を日高市で開催し、活動者を増やしました。

【運営委託先】（委託による事業開始年月日）

- ・こま武蔵台福祉ネット（平成23年1月31日）
- ・日高団地自治会（平成23年1月31日）
- ・たかね地域おたすけ隊（平成25年10月1日）
- ・原宿地域おたすけ隊（平成29年10月1日）
- ・高麗地域おたすけ隊（令和4年1月4日）
- ・鹿山上地域おたすけ隊（令和6年1月1日）

【活動実績】

区 分	令和5年度	対前年比
利用件数	3,540 件	223 件
利用時間数	4375.5 時間	177 時間
※運転付添時間	2953.5 時間	△9 時間
利用者登録数	869 人	55 人
ボランティア数	158 人	1 人
地域支え合い協力店舗	143 店舗	3 店舗

④ 民生委員・児童委員調査連絡・見守り活動助成

⑤ 日高市社会福祉大会

⑥ あいあいまつり

⑦ 福祉広報事業

ア ホームページの運営

イ 社協だより「ひだまり」発行

④ 民生委員・児童委員調査連絡・見守り活動助成

日高市民生委員・児童委員協議会に依頼して実施する各種調査活動と見守り活動に対して助成しました。

⑤ 日高市社会福祉大会（第37回）

市の社会福祉の発展に功績のあった人を表彰し、市内福祉関係者相互の連携と地域福祉活動の更なる普及を図るために開催しました。

・期日 令和5年11月23日(木・祝)

・会場 総合福祉センター

・表彰 市社会福祉協議会会長表彰 10人

市社会福祉協議会会長感謝状3団体、1人

県共同募金会日高市支会会長感謝状1人

⑥ あいあいまつり（第16回）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を取りやめてきましたが、4年振りに開催しました。

・日 時 令和5年10月7日(土)

・会 場 総合福祉センター

・参加者 534人

⑦ 福祉広報事業

ア ホームページの運営

イ 社協だより「ひだまり」発行

・年3回発行(7月、11月、3月)

【成果と課題】

福祉スポーツ大会やあいあいまつりといった福祉イベントを再開しました。コロナ禍で交流機会が減少した人たちとの再会の機会となりました。

一方、共同募金配分金の減少により、配分金による事業の整理や見直しが必要となっています。

【別表】サロン登録活動一覧

	団体名(登録順)	主な対象	実施場所
1	こま武蔵台福祉ネット(地域交流広場)	高齢者	武蔵台小学校区地域交流広場
2	こま武蔵台福祉ネット(ふれあいサロン)		武蔵台ふれあいサロン
3	チャットルーム(精神保健福祉ボランティア)	障がい	総合福祉センター
4	ふれあいサービスさくら会	高齢者	高萩団地自治会館
5	ひまわり会	高齢者	鹿山上区公会堂
6	おしゃべりサロン協力会	高齢者	日高団地自治会館
7	ちょこっとランチ・トマト会	高齢者	総合福祉センター
8	ふれあい会	高齢者	日高団地ふれあい館
9	ニコニコひろば	子育て支援	横手台自治会館
10	高萩団地なかよしサロン協力会	高齢者	高萩団地自治会館
11	宮前サロンいこい	高齢者	宮前公会堂
12	サロン ひなた	高齢者	日向自治会館
13	台交流サロン	高齢者	台自治会館
14	地域食堂 ちゃぶ台	複合	高麗公民館ほか
15	ホッとスペース aloha	子ども	市内公民館
16	たかね地区サロン協力会	複合	たかねサロン
17	ひつじの会	高齢者	総合福祉センター
18	宮前おたすけクラブ	複合	市内全域(依頼場所)
19	NPO 法人げんきネット武蔵台	まちづくり	武蔵台ショッピングセンター
20	日高こどな食堂	複合	店舗利用
21	旭ヶ丘ハッピータウン	まちづくり	旭ヶ丘公会堂
22	やまなみ食堂	子ども	武蔵台公民館ほか
23	サロンオリーブ	サロン	カフェパロン
24	天使ママサロン 桜のバトン	母親支援	オンライン
25	日高ママサロン	子ども	総合福祉センター
26	梅原元組交流サロン	複合	梅原区公会堂
27	横手サロン	高齢者	横手区公会堂

※ 休止中のサロン活動を除く。

5 生活福祉資金貸付事業	担 当	相談支援課												
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題													
<p>他の機関からの借り入れが困難な低所得世帯等への資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように実施します。</p> <p>① 生活福祉資金（福祉資金、緊急小口資金、教育支援資金）</p> <p>② 総合支援資金</p> <p>③ 不動産担保型生活資金</p> <p>④ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金</p> <p>⑤ 臨時特例つなぎ資金</p>	<p>埼玉県社会福祉協議会からの委託により、生活福祉資金の貸付に関する相談援助を行いました。</p> <p>【内容及び実績】</p> <table border="1" data-bbox="740 477 1393 775"> <tbody> <tr> <td>福祉資金・教育支援資金</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>不動産担保型生活資金</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>要保護世帯向け不動産担保型生活資金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時特例つなぎ資金</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果と課題】</p> <p>令和2年3月から申請受付が開始した新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した世帯への特例貸付の償還が令和5年1月から開始となりましたが、償還が困難な世帯からの相談や更なる貸付の相談が増えています。本則の貸付相談については、「コロナの特例貸付」で社協の緊急小口資金、生活福祉資金が周知された影響もあり、令和3年度新規相談9件に対し、令和4年度は37件と急増、更に今年度は45件と増加しましたが、要件が緩和されていた特例貸付の利用者は本則の要件では対象外の方がほとんどで支援決定に至った件数は1件でした。</p> <p>今後も引き続き、特例貸付終了後の生活困窮者に向けた生活再建への支援や教育支援資金の周知など、生活困窮世帯の支援を自立相談支援センターと連携しながら自立支援、家計改善、就労支援に努めていきます。</p>		福祉資金・教育支援資金	1件	緊急小口資金	0件	総合支援資金	0件	不動産担保型生活資金	0件	要保護世帯向け不動産担保型生活資金		臨時特例つなぎ資金	0件
福祉資金・教育支援資金	1件													
緊急小口資金	0件													
総合支援資金	0件													
不動産担保型生活資金	0件													
要保護世帯向け不動産担保型生活資金														
臨時特例つなぎ資金	0件													

6 福祉資金貸付事業	担 当	相談支援課
-------------------	-----	-------

令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
--------------	--------------

低所得世帯が、臨時的出費又は収入欠如等の恐れがあるため、生活維持が困難となった場合に、その応急的支援によって生活の安定と自立を助け、住民福祉の向上を図ります。

【内容及び実績】

貸付件数	0件
貸付金額	0円
当年度償還済み額	0円
当年度未償還額	0円

(福祉資金貸付現況)

福祉資金元金現額		1, 162, 594円
= (1) + (2)		
(1) 預金保有額		808, 594円
※当年度延滞利子収入		0円
(2) 貸付現額		354, 000円
年 度 別 の 内 訳 額	平成17年度 1件	45, 000円
	平成18年度 3件	90, 000円
	平成19年度 2件	89, 000円
	平成20年度 1件	30, 000円
	平成21年度 1件	22, 000円
	平成22年度 2件	10, 000円
	平成23年度 1件	18, 000円
	平成24年度 0件	0円
	平成25年度 0件	0円
	平成26年度 0件	0円
	令和元年度 0件	0円
	令和2年度 0件	0円
	令和3年度 1件	50, 000円
令和4年度 0件	0円	

【成果と課題】

貸付希望者は多いが、貸付上限額の5万円では足りず、また、再建の見通しが立たなかったり、慢性的に生活費が不足していたり、多額の債務を抱えているなどの理由から対象とならず貸付には至らず実績はありませんでした。償還については連絡が付かないなど償還指導ができず、償還実績もありませんでした。今後は、上限額を引き下げ、柔軟な手続きでの貸し付けが必要かと思われます。

7 福祉サービス利用援助事業	担 当	地域福祉課地域福祉担当																									
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題																										
<p>認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が十分でない人が、地域で自立した生活を安心して送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供や暮らしに必要なお金の出し入れなどの援助を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本事業 福祉サービスの利用援助 ・選択事業 日常生活上の手続き援助 日常的金銭管理 書類等預かりサービス 	<p>埼玉県社会福祉協議会からの委託により、判断能力が不十分なことにより、自己決定が困難となった高齢者、知的障がい者、精神障がい者が安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の生活支援を行いました。</p> <p>(内容及び実績) 令和6年3月31日現在</p> <table border="1" data-bbox="746 622 1390 869"> <thead> <tr> <th>相談援助件数</th> <th colspan="4">866 件</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>高齢</th> <th>精神</th> <th>知的</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規契約件数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>解約件数</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>契約件数</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果と課題】</p> <p>定期的な支援計画の評価を実施し、適正に事務を行いました。</p> <p>今後、増加傾向にある新たな契約の希望への対応と、現在の契約者の判断能力の低下に合わせた支援の見直し（成年後見制度への移行等）を進めていく必要があります。</p>		相談援助件数	866 件				区分	高齢	精神	知的	計	新規契約件数	5	2	2	9	解約件数	3	1	0	4	契約件数	6	4	6	16
相談援助件数	866 件																										
区分	高齢	精神	知的	計																							
新規契約件数	5	2	2	9																							
解約件数	3	1	0	4																							
契約件数	6	4	6	16																							

8 障がい者相談支援事業	担 当	相談支援課																								
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題																									
<p>1 障がい者計画相談事業 障がい福祉サービスを希望する人に、課題の解決や適切なサービス利用に向けて、障がい者相談支援センター「ぷらむ」が支援します。</p> <p>①サービス利用支援 ②継続サービス利用支援</p> <p>2 障がい者相談支援事業（市受託事業） 障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行います。</p>	<p>1 障がい者計画相談事業 障がい福祉サービス等を希望する人に、サービス等利用計画についての相談及び作成等の支援が必要な場合に、障がい者の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより、支援を行いました。</p> <p>【内容及び実績】</p> <table border="1" data-bbox="746 719 1390 920"> <thead> <tr> <th>契約件数</th> <th colspan="5">115件</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>精神</th> <th>他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画相談</td> <td>2</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>相談支援</td> <td>8</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>13</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 障がい者相談支援事業（市受託事業） 日高市からの委託により、障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行いました。</p> <p>【成果と課題】 計画相談支援事業については、必要時、計画作成、モニタリングを実施する事ができました。 相談支援事業については、他機関との連携を図りながら必要な支援の情報提供や課題の解決に取り組む事ができました。 自覚症状があっても未受診の方や治療を中断している方、手帳を持っていない方、発達障がいの方などの相談が増えており、引き続き、医療・保健との連携を図り適切な支援に努めます。</p>		契約件数	115件					区分	身体	知的	精神	他	計	計画相談	2	22	14	0	38	相談支援	8	27	29	13	77
契約件数	115件																									
区分	身体	知的	精神	他	計																					
計画相談	2	22	14	0	38																					
相談支援	8	27	29	13	77																					

社会福祉事業

Ⅱ ヘルパーステーション

1 訪問介護等事業

担 当

生活援助課

令和5年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

(1) 介護保険法によるサービスの実施

① 身体介護・生活支援

食事、着替え、入浴介助等の身体介護、調理、洗濯、掃除、買物等の生活援助の支援を行います。

② 相談・助言

生活、身上、介護に関する相談及び助言を行います。

(2) 総合事業によるサービスの実施（要支援からの移行）

(3) 研修会、実習生の受け入れの実施

① 研修会の実施

サービスの質の向上や介護技術を高めるために、検討会議及び各種研修会を行います。

② 実習生の受け入れ

介護福祉士養成のための実習の場を提供します。

(1) 介護保険法によるサービスの実施

(2) 総合事業によるサービスの実施（要支援からの移行）

介護保険法に基づき、訪問介護計画を作成し、利用者が自宅で安心かつ安全な生活が送れるよう適切な援助を実施しました。体調管理や感染予防対策を徹底し、サービスを行いました。利用者のニーズとケアマネジメントに沿った質の高いサービスの提供に努めました。また、利用者から相談を受けた際は、ケアマネジャーと連携して利用者の不安を解消できるよう対応しました。

【訪問介護 活動実績】

	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間
令和5年度	244	1,940	1,929.35
令和4年度	294	2,339	2,315.05
比較増減	△50	△399	△385.7

【介護予防訪問介護（総合事業） 活動実績】

	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間
令和5年度	311	1,707	1,707.00
令和4年度	292	1,466	1,466.00
比較増減	19	241	241.00

(3) 研修会、実習生の受け入れの実施

① 研修会の実施

- ・認知症介護基礎研修
- ・感染症介護基礎研修
- ・虐待、身体拘束研修

② 実習生の受け入れ

今年度は受け入れがありませんでした。

【成果と課題】

入院・入所、逝去等により、要介護者に対する訪問介護件数が減少しました。

感染予防対策を徹底しつつ、新規の利用者を支援できる体制を整えました。

2 障がい福祉サービス事業

担 当 生活援助課

令和5年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

(1) 障害者総合支援法によるサービスの実施

① 居宅介護

知的・身体・精神の障がいがある人、難病疾患がある人への身体介護及び家事援助の支援を行います。生活する中での相談助言を行います。

② 重度訪問介護

日常生活全般に常時支援を要する、脳性まひ等全身性障がいがある人への日常生活支援を行います。

③ 同行援護

屋外での移動に制限のある視覚障がいがある人への移動介護を行います。

④ 移動支援(地域生活支援事業)

屋外での移動に制限のある全身性障がい及び知的障がいがある人への移動介護を行います。

(2) 養育支援訪問事業(市受託事業)

家事及び養育の支援が必要な家庭へ、市の要請に基づきホームヘルパーの派遣を行います。

(3) 委員会の設置

虐待防止のための委員会を開催します。

(1) 障害者総合支援法によるサービスの実施

在宅生活の維持継続と利用者が自宅において自立した生活が送れることを念頭に居宅計画を作成し、計画に沿ったサービス提供を行いました。また、感染予防対策を徹底し、可能な範囲で家に閉じこもることなく、健康増進のため等、一人での外出の困難な障がい者への、外出支援を行いました。

【居宅介護・重度訪問介護・同行援護活動実績】

年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間
令和5年度	116	498	872.25
令和4年度	123	527	859.75
比較増減	△7	△29	△12.5

【移動支援活動実績】

年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間
令和5年度	34	48	217.00
令和4年度	35	56	219.00
比較増減	△1	△8	△2

(2) 養育支援訪問事業(市受託事業)

【養育支援活動実績】

年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間
令和5年度	0	0	0
令和4年度	0	0	0
比較増減	0	0	0

※実績なし

(3) 委員会の設置

虐待防止のための委員会を開催しました。

【成果と課題】

感染予防対策を徹底しつつ、外出先での移動支援を実施しました。

社会福祉事業

Ⅲ 総合福祉センター管理・経営事業

【指定管理事業】

<p>1 総合福祉センター</p>	<p>担 当</p>	<p>地域福祉課企画総務担当</p>
<p>令和5年度事業計画・概要</p>	<p>事業実施結果・成果と課題</p>	
<p>① 会議室等の貸出・調整業務 会議室等の貸出及び利用に際し、適切に手続きを行います。</p> <p>② 建物・施設の維持管理 建物及び施設の維持管理、保守点検、修繕、清掃などを適切に実施し、安全意識を持った管理運営を行います。</p> <p>③ 職員の研修 緊急時の適切な対応を目的として研修の充実を図ります。 ア 消防訓練の実施 災害を想定し、年2回の消防訓練を実施します。 イ 普通救命講習の実施 職員の資質向上及び緊急時に適切な対応ができるよう、普通救命講習を行います。</p> <p>④ 自主事業の充実 サービスの質の向上を図ることを目的として、指定管理者として取り組む自主事業の充実を図ります。 ア 利用者アンケートの実施 来館者の要望を把握し、サービスに反映させるため、アンケートを実施します。 イ 情報提供の充実 センターでの催事や取組について、積極的に情報提供を行い、利用者の拡大を図ります。 ウ 利用機会の拡大による市民交流の促進 ○ホワイエを使用した健康づくり教室の実施【新規】</p>	<p>① 会議室等の貸出・調整業務 会議室等の貸出業務を適正に行うとともに、明るい窓口対応や快適で安全に利用いただくことを心掛けました。 また、令和5年10月1日からインボイス制度が始まり、日高市社会福祉協議会が適格請求書発行事業者となったことに伴い、貸室利用料の徴収についてもインボイス制度に対応した様式に変更しました。 ※ 利用実績については、部屋別利用実績(別表1)、浴室利用実績(別表2)参照</p> <p>② 建物・施設の維持管理 安定的な運営を確保するため、市が作成した公共施設点検マニュアルにもとづいた日常及び定期の保守点検を確実にを行うことで異常の早期の発見に努めるとともに、速やかに修繕等を実施しました。</p> <p>③ 職員の研修 ア 消防訓練の実施 消防計画に基づき、避難誘導・救護等の総合的な訓練を2回実施しました。 イ 普通救命講習の実施 普通救命講習は実施出来ませんでした。</p> <p>④ 自主事業の充実 ア 利用者アンケートの実施 実施期間 令和5年11月1日～30日 イ 情報提供の充実 館内での情報コーナーを運営し、来館者へ行事や生活に関する情報を提供しました。 ウ 利用機会の拡大による市民交流の促進 ○ホワイエを使用した健康づくり教室の実施【新規】 健康増進を目的としたサークル活動を行っている団体に協力依頼を行い、毎週水曜日の午前中に実施しました。</p>	

○壁面利用の市民ギャラリーの実施
【新規】

○高麗の郷中庭グリーンプロジェクトの実施【新規】

○壁面利用の市民ギャラリーの実施【新規】

日高市絵画連盟、日高市書道連盟、日高市写真連盟を指定団体とし、展示期間を定めて作品を展示しました。また、指定団体の展示期間以外をサークルや個人の作品展示期間とし、センター来館者に楽しんでいただけるよう工夫しました。

○高麗の郷中庭グリーンプロジェクトの実施【新規】
実施出来ませんでした。

【成果と課題】

壁面を利用した市民ギャラリーの実施やホワイエを使用した健康づくり教室を新規事業として取り組み、来館者の健康増進や外出の機会を増やすことへの一助となるよう工夫が出来ました。

一方で、普通救命講習の実施がコロナ禍以降実施出来ていないので、総合福祉センター担当課職員や外部委託の総合管理業者を中心に受講の機会を設ける必要があります。

(別表1) 部屋別利用実績

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修室	1,922	1,432	1,577	1,725	1,419	1,662	1,257	1,480	1,524	1,582	1,625	1,926
大広間	25	30	28	67	76	81	99	84	83	54	56	105
教養娯楽室	231	252	284	225	292	292	330	356	317	232	333	255
調理実習室	25	27	37	73	83	22	77	53	91	11	19	75
生涯学習室	613	540	563	581	397	620	606	660	512	601	686	558
余暇活動室	391	374	443	410	339	437	416	413	334	289	439	342
会議室A	168	179	201	212	161	258	226	260	202	213	249	254
会議室B	107	145	129	115	110	148	160	208	103	133	155	146
会議室C	294	309	373	326	256	340	393	311	298	325	362	365
エントランス	108	120	111	132	64	88	276	565	146	86	63	106
グラウンド	340	335	390	431	293	231	291	581	436	458	307	228
合計	4,224	3,743	4,136	4,297	3,490	4,179	4,131	4,971	4,046	3,984	4,294	4,360
前年度比	601	660	705	△ 80	△ 222	353	△ 397	838	161	440	1,217	372

(別表2) 浴室利用実績

単位

	広域内		広域外	人数計	前年度比
	100円	200円	600円		
4月	2,979	260	4	3,243	164
5月	3,032	311	5	3,348	230
6月	2,876	291	0	3,167	157
7月	2,768	284	4	3,056	103
8月	2,725	332	3	3,060	180
9月	2,108	307	15	2,430	△ 413
10月	3,007	402	9	3,418	229
11月	3,106	333	15	3,454	268
12月	2,955	350	6	3,311	220
1月	2,941	375	0	3,316	102
2月	1,500	230	3	1,733	△ 1,607
3月	3,132	463	5	3,600	31
合計	33,129	3,938	69	37,136	△ 336
前年度比	△ 1,373	1,060	△ 23	△ 336	
月平均	2,761	328	6	3,095	

※9月15日～21日(16日休館日)は、老人週間により65歳以上の方は入浴無料日。期間中の無料入浴者は739人でした。

※定期検査によるレジオネラ菌の検出により、2月7日午後3時から2月20日まで浴室の営業を停止しました。

社会福祉事業

IV こまのさと作業所

<p>1 こまのさと作業所</p>	<p>担 当</p>	<p>生活援助課</p>
<p>令和5年度事業計画・概要</p>	<p>事業実施結果・成果と課題</p>	
<p>障害者総合支援法に基づき、利用者に就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行います。また、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者及び家族の意向、適性・障がいの特性、その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な日中活動サービスを実施します。</p> <p>(1) 就労支援事業の実施 障がいがあってもその人らしく誇りややりがいをもって、安心して快適に就労するための支援を行います。</p> <p>① 企業からの請負作業 ア ギフト商品に関する作業 イ 金属ボルトの計数・結束作業 ウ ガスメーターの組立作業 エ 種の袋入れ作業 オ 学習シール等の袋入れ作業 カ 商品券の箱折り作業 キ 付録ばらし作業 ク 施設外就労</p> <p>② 自主製品製造販売事業 ア 古紙リサイクル植木鉢 イ 廃油リサイクル石けん ウ その他工芸品</p> <p>③ その他 ア 郵便切手類の販売 イ 洗車</p> <p>④ 一般就労に向けた支援 ア 職場実習 イ 求職活動支援</p>	<p>対 象 者：身体障がい者、知的障がい者（18歳以上） 開 所 日：月曜日～金曜日（祝日を除く） 開所時間：午前9時30分～午後4時 開所日数：238日 利用者数：23名（男16名、女7名） 年間延べ4,410人 1日平均18.5人 利用率92.6%</p> <p>(1) 就労支援事業の実施</p> <p>① 企業からの請負作業 ア (株)サンシャイン企画（日高市） イ (株)アムハード小西（日高市） ウ (株)クリエイト電子（鶴ヶ島市） エ (有) プラスワン（坂戸市） オ (株) 新生化工（日高市） カ (福) むさしの日高作業所（日高市） 令和5年度請負作業収入 3,075,735円 （前年度比 △187,149円）</p> <p>② 自主製品製造販売事業 （主な常設販売スペース） ・市総合福祉センター ・農協日高中央直売所 ・朝採れファーム高麗郷 ・その他 （出店販売、その他） 令和5年度自主製品事業収入 115,624円 （前年度比 △100,163円）</p> <p>③ その他 日高市集団資源回収奨励報奨金 令和5年度資源回収事業収入 83,704円 （前年度比 19,804円）</p> <p>④ 一般就労に向けた支援 実施なし</p>	

(2) その他

地域社会との交流を深め、関係機関と連携を図り、地域の中で社会の一員として意欲と生き甲斐を持って生活するための支援を行います。

① 身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み

② 社会生活能力向上のためのプログラムの実施

③ イベント等への参加

④ 余暇活動、レクリエーションの実施

⑤ 送迎車の運行

希望する利用者の自宅又は指定場所までの送迎を実施することで、利用者の通所時の安全確保と、保護者の負担軽減を図ります。

(3) 委員会の開催

(2) その他

① 身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み

ア 着替えや整容、食事や排泄の支援

イ 掃除や洗濯等スキルの向上

② 社会生活能力向上のためのプログラムの実施

ア グループ外出プログラム

・令和5年6月12日(月) 鉄道博物館

・令和5年8月31日(木) 鉄道博物館

・令和6年2月9日(金) 映画鑑賞

・令和6年2月15日(金) 入間市博物館・三井アウトレットパーク

イ 日帰りバス旅行：中止

③ イベントへの参加

・令和5年6月4日(日) 福祉スポーツ大会

・令和5年10月7日(土) あいあいまつり

・令和5年10月13日(金) 赤い羽根街頭募金活動
日高市民まつり：不参加

④ 余暇活動、レクリエーションの実施

・令和5年11月17日(金) ランチバイキング

・令和5年12月27日(水) 忘年会

⑤ 送迎車の運行

コース 高麗、高麗川、高萩コース

運行日数 238日

利用者 20人 年延べ利用者：6,784人(往復)
(1日平均28.5人)

(3) 委員会の開催

・令和6年3月21日(木) 虐待防止委員会

【成果と課題】

サービスが途切れることなく提供できるように、感染予防対策を徹底しました。就労支援事業は、請負作業を中心に取り組みましたが、収入は減少しました。地域のイベントや外出プログラムも再開し、希望者を中心に少人数での社会参加を楽しみました。また、障がい特性や加齢に伴い、見守りや支援が必要な利用者が増えています。利用者の健康増進・モチベーションを維持し、安心・快適な日中活動サービスを実施しました。

社会福祉事業

V ファミリーサポートセンター

【市受託事業】

1 ファミリーサポートセンター

担 当

相談支援課

令和5年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

(1) ファミリーサポートセンター事業

子育ての援助をしたい人（協力会員）と援助をしてほしい人（利用会員）の双方が会員となり、会員間の援助活動の調整を行うことで、子育て支援を促進するため、日高市ファミリーサポートセンターを運営します。

- ① 会員の募集、登録その他会員組織の運営
- ② 援助活動の調整及びあっ旋
- ③ 会員に対して、援助活動に必要な知識を付与するために行う講習会等の開催

- ④ 会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催

- ⑤ アドバイザーの配置及びサブリーダーの選任

- ⑥ アドバイザーのスキルアップのための研修会参加

- ⑦ 広報（ファミサポ通信の発行）

(1) ファミリーサポートセンター事業

- ① 会員の募集、登録その他会員組織の運営
・会員登録の状況

内 訳	令和5度	前年度
利用会員	203人	198人
協力会員	91人	82人
両方会員	7人	5人
合 計	301人	285人

- ② 援助活動の調整及びあっ旋（別表1参照）
- ③ 協力会員講習会

【協力会員研修（1回目）】

- ・令和5年 6月21日（水） 参加人数6名
- 6月28日（水） 参加人数6名
- 7月5日（水） 参加人数6名

【協力会員研修（2回目）】

- ・令和5年 10月26日（木） 参加人数9名
- 11月2日（木） 参加人数11名
- 11月9日（木） 参加人数6名

- ④ 会員交流会

新型コロナウイルスの不安が残る為中止しました。強化月間として、市役所子育て応援課前パネル展示を実施しました。（2月1日～29日まで）

- ⑤ アドバイザーの配置及びサブリーダーの選任

選任に至りませんでした。運営体制の検討が必要です。

- ⑥ アドバイザーのスキルアップのための研修会参加

- ・子育て支援従事者研修
令和5年9月26日（火）（zoom）
- ・全国アドバイザー講習会・交流会
令和5年10月27日（金）（zoom）
- ・アドバイザー研修
令和5年12月4日（月） 共済会館

- ⑦ 広報（ファミサポ通信）の発行

ファミリーサポートセンターの取組を周知するとともに、会員間の情報交換を目的に発行しました。

(発行日) 第31号 令和5年8月号
第32号 令和5年12月号

⑧ ファミサポチラシ QR コードからの問い合わせ【新規】

⑧ ファミサポチラシQRコードからの問い合わせ
・2件 (2件：登録済み)

(2) 産前産後家庭サポート事業

(2) 産前産後家庭サポート事業

① サポーターの募集・登録その他会員組織の運営

① サポーターの募集・登録その他会員組織の運営
・登録の状況

内 訳	令和5年度	前年度
新規利用者	17人	16人
サポーター	42人	35人
合 計	59人	51人

② 援助活動の調整及びあっ旋

② 援助活動の調整及びあっ旋

・活動時間数 (別表2参照)

活動件数8件、利用者実人数4人、対応サポーター実人数5人

③ サポーターの養成

③ サポーターの養成

・サポーター講習会 令和5年11月2日(木)
参加人数9名 (協力会員講習会と合同)

④ 「子育て応援！育児スタートサポート券」の利用【新規】

④ 子育て応援 育児スタートサポート券の利用
利用世帯3世帯、利用枚数5枚

⑤ 子育て支援センターぬくぬく開催パパママ教室での産前産後家庭サポート事業の紹介

⑤ 子育て支援センターぬくぬく開催

パパママ教室での産前産後家庭サポート事業の紹介
令和5年11月6日(月) 登録人数6名
令和6年1月11日(木) 登録人数1名
令和6年3月4日(月) 登録人数0名

【成果と課題】

令和5年4月から出産されたご家庭に、子育て応援 育児スタートサポート券(2枚、2時間無料)が配付されファミサポと産後家庭サポートに利用できるようになりました。

また、協力会員講習会24時間を開催することができ協力会員確保につなげることができました。

ファミサポ強化月間として、子育て応援課前にパネル展示を実施。ファミサポの利用、協力会員の確保に努めています。

〔別表1〕ファミリーサポートセンター援助活動の状況

内 容	5年度	前年度
保育所・幼稚園の登園前の預かり	5回	7回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	101回	228回
保育所・幼稚園の送り	5回	127回
保育所・幼稚園の迎え	57回	126回
学童保育終了後の預かり	0回	7回
学童保育開始前の預かり	0回	0回
学校の放課後の預かり	12回	0回
学校の登校前の預かり	0回	2回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	6回	5回
保護者等の外出の場合の援助	12回	3回
小学校へ／からの小学生の送迎	78回	106回
学童保育へ／からの小学生の送迎	0回	3回
子どもの病気時の援助	0回	0回
子どもの習い事等の場合の援助	526回	327回
保育所・学校等休み時の援助	4回	10回
保育所等施設への入所前の援助	0回	1回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	88回	104回
保護者等の求職活動中の援助	0回	0回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	3回	1回
協力会員宅以外での援助	99回	90回
その他	29回	14回
合 計	1025回	1161回

※1回の活動に複数の区分に該当する場合はダブルカウントしています。

※その他内容：学童→利用会員宅、妊婦健診、病院の付き添い

〔別表2〕産前産後家庭サポート援助活動の状況

内 容	5年度	前年度
家事支援（食事の準備）	1時間	3時間
家事支援（居室等の掃除）	5時間	0時間
家事支援（洗濯）	0.5時間	0時間
家事支援（買い物）	4時間	1時間
育児支援（もく浴の介助）	0時間	0時間
育児支援（授乳の補助）	0時間	0時間
その他	2.5時間	0時間
合計	13時間	4時間

※その他：預かり、洗濯物たたみ

令和5年度

事業報告

公益事業区分

公益事業

I 地域包括支援センター		担当	日高市高麗川地域包括支援センター
1	地域包括支援センター		
令和5年度 事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題	
<p>(1) 包括的支援事業</p> <p>① 第一号介護予防支援事業 総合事業において、事業対象者に支援計画を作成し、訪問型サービス、通所型サービスを適切に提供し、自立した生活が続けられるよう支援します。</p> <p>② 総合相談支援業務 本人、家族、地域住民、ネットワーク関係者などからの情報をもとに、高齢者宅を訪問することで心身の状況や家庭環境などを把握し、相談者に適切な支援や提案を行います。</p> <p>(2) 権利擁護業務</p> <p>① 成年後見制度の活用</p> <p>② 高齢者虐待への対応</p> <p>③ 困難事例への対応</p> <p>④ 消費者被害の防止</p> <p>(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務</p> <p>① 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 介護支援専門員が社会資源を活用できるよう地域の連携、協力体制を整備します。</p> <p>② 介護支援専門員に対する支援</p>		<p>(1) 包括的支援事業</p> <p>① 第一号介護予防支援事業 訪問介護、通所介護のみを利用しているかたに介護予防ケアマネジメント対象者としてサービスの利用を提供しました。</p> <p>② 総合相談支援業務 延べ1,392件（前年度比△14件）の総合相談がありました。</p> <p>(2) 権利擁護業務</p> <p>① 成年後見制度の活用 制度の活用や周知に努めました。</p> <p>② 高齢者虐待への対応 延べ1件（前年度比△4件）の支援を行いました。</p> <p>③ 困難事例への対応 延べ938件（前年度比△502件）の支援を行いました。支援の長期化・複雑化に伴い、多機関との連携が必要となっています。</p> <p>④ 消費者被害の防止 日高市消費生活相談センターと連携し、被害の防止に努めました。</p> <p>(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業</p> <p>① 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 関係機関、自治会、ボランティア団体、企業との連携に努めました。</p> <p>② 介護支援専門員に対する支援 延べ86件（前年度比△18件）のケアマ</p>	

③ ケアマネサロンの開催

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

- ① 多職種連携座談会「飯能・日高ワールドカフェへの参加

- ② 「在宅医療連携拠点はんのう」との連携

(5) 認知症総合支援事業

認知症の方が地域で安心して住み続けられるよう、早期に適切な支援に努めます。

- ① 認知症初期集中支援事業

- ② 認知症地域支援推進員の活動

- ③ 認知症家族・当事者への支援

オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施や認知症相談窓口の普及を通して、認知症の人およびその家族や支援者の社会参加を支援します。

(6) 生活支援体制整備事業（第2層担当）

第1層の担当者と連携して地域に高齢者が気軽に集える場所を作ります。

- ① 担当圏域のニーズと既存の社会資源の把握、担

ね相談支援をおこないました。

③ ケアマネサロンの開催

ケアマネ連絡会、ケアマネサロン（今年度5回）の開催を通じて介護支援専門員の資質の向上に努めました。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

- ① 多職種連携座談会 飯能・日高ワールドカフェへの参加

Zoom 会議に参加。市民フォーラムは高麗の郷にて在宅医療に関する映画上映などをし、開催しました。

- ② 「在宅医療連携拠点はんのう」との連携
メディカルケアステーション（MCS）に登録し SNS で情報交換を行いました。飯能市・日高市情報交換会に出席し、情報交換と連携を図りました。

(5) 認知症総合支援事業

- ① 認知症初期集中支援事業

定期チーム員会議に参加しました。認知症相談とし 55 件の報告を行い、医師等からのアドバイスにより認知症の人の支援に努めました。

- ② 認知症地域支援推進員の活動

定期会議に参加。認知症サポーター養成講座の開催、認知症関連事業の情報誌の作成をし、年2回全戸配布。チームオレンジの立ち上げを行いました。

- ③ 認知症家族・当事者への支援

4月からこま川団地のたかねサロンにて月1回のオレンジカフェもみじを定期開催しました。

(6) 生活支援体制整備事業（第2層担当）

UR と連携し、居場所づくりに向けた介護予防イベントを10回実施しました。

その内、2回は介護者サロンを高麗川圏域内

い手づくりなど、住民共助の活動の充実に努めます。

- ② 圏域内でケアラーを支援するための介護者サロンの開催と圏域内の地域ケア会議の継続開催を目指します。

(7) 地域ケア会議の充実

- ① ケアマネジメント支援型地域ケア会議

- ② 圏域型地域ケア会議

(8) 指定介護予防支援業務

(9) 一般介護予防事業

- ① 日高市健康ロコモ体操や認知症予防を含めたフレイル予防教室を公民館にて開催します。

- ② 圏域内での介護予防に関する実情やニーズに応じ、介護予防教室の内容を検討し、開催します。

- ③ 地域介護予防活動支援事業
住民主体の介護予防教室として開始した「くりくり元気体操」の普及とその活動を支援する介護予防ボランティア(くりくりサポーター)の支援に努めます。

(10) その他の事業

の介護保険事業所、傾聴ボランティアと協力し、開催しました。また、高麗の郷でも1回、介護者サロンを同様の形で開催しました。

(7) 地域ケア会議の充実

- ① ケアマネジメント支援型地域ケア会議
市が主催するケアマネジメント支援型の地域ケア会議への出席、進行、助言を行いました。

- ② 圏域型地域ケア会議
圏域内3か所(原宿・こま川団地・東急)で心配なかたの情報交換や、地域課題の話し合いを行いました。

(8) 指定介護予防支援業務

要支援認定者のかたに適切な介護予防プランを作成しサービスを提供しました。

(9) 一般介護予防事業

- ① 日高ロコトレ教室
事前予約制などの感染防止対策を行い、2か所の公民館にて計24回開催し、ロコモティブシンドロームの予防に努めました。

- ② はつらつ健幸教室
事前予約制などの感染予防対策を行い、2か所の公民館で計24回開催し、フレイル予防の普及啓発に努めました。

- ③ 地域介護予防活動支援事業
感染予防、対策を講じ「くりくり元気体操」の活動を再開するグループも増え、普及とその活動の支援に努めました。当センターが企画、実施した介護予防教室を総合福祉センターにて計2回開催し、ロコモティブシンドロームの説明と測定、フレイル予防に努めました。

(10) その他の事業

- ① 介護保険制度などの出前講座や出前相談の実施
- ② 日高市地域包括支援センター便り発行(年2回)
- ③ 日高市情報交換会の実施
- ④ 在宅看護実習生受け入れ(埼玉医科短期大学)
- ⑤ 救急医療情報キットの配布(随時)

- ① 認知症サポーター養成講座を計6回、出前講座を計1回開催しました。
- ② 市内3包括共同で介護予防に関する情報を発信しました。
- ③ 略
- ④ 25名の実習生を受け入れ、地域ケアや介護予防の重要性について指導しました。

【成果と課題】

コロナ以前におこなっていた事業の内容や規模など見直し、再開するだけでなく、新規の事業として介護者サロンを企画し開催することが出来ました。今後は、現在実施する事業の定着や継続を重点に置き業務を進めていきます。

令和5年度 事業実績表

センター名	高麗川地域包括支援センター															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	計	
総合相談事業	計(電話・来所・訪問・文書) A	124	112	114	87	95	133	665	150	102	128	125	101	121	727	1392
	電話	52	53	52	41	45	63	306	68	46	55	64	50	62	345	651
	来所	30	28	30	18	24	27	157	29	25	31	24	19	28	156	313
	訪問	41	31	32	27	26	41	198	51	30	42	37	30	31	221	419
	文書	1	0	0	1	0	2	4	2	1	0	0	2	0	5	9
	(再掲)認知症に関連する総合相談	2	4	7	5	7	5	30	6	4	1	6	2	6	25	55
相談実人数	114	102	105	73	82	100	576	114	85	105	93	80	94	571	1147	
権利擁護事業	計 B	63	50	72	92	106	79	462	49	84	63	71	109	124	600	962
	延件数	2	0	1	0	1	2	6	1	1	1	3	0	1	7	13
	高齢者虐待	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	困難事例	61	46	71	91	104	77	450	44	83	62	67	109	123	488	938
	消費者被害	0	4	0	0	1	0	5	4	0	0	1	0	0	5	10
	計	35	23	57	56	63	46	280	34	41	47	40	50	56	268	548
	実人数	1	0	1	0	1	1	4	1	1	1	3	0	1	7	11
	高齢者虐待対応	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	訪問調査に至った件数	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	立入につなげた回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
「やむを得ない事由」、「環境上・経済上の理由」による入所措置(実人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	ケア体制の構築	2	1	0	2	1	1	7	2	1	0	1	1	0	5	12
	個別ケース型地域ケア会議開催件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日常相談業務	3	6	1	8	9	8	35	11	12	13	6	6	3	51	86
	サービスの事業者相談(延件数) D	1	0	0	0	0	3	4	2	1	5	2	1	3	14	18
	その他の連携	32	26	22	20	33	66	199	52	76	54	51	64	54	351	550
相対件数計(A+B+C+D)	116	133	125	144	165	115	799	152	115	154	153	129	151	654	1652	
第1号介護予防ケアマネジメント実施状況	介護予防ケアマネジメント件数	51	52	55	50	52	51	311	53	51	56	55	57	54	326	637
	内、業務委託件数	8	8	7	7	6	6	42	8	7	6	6	5	6	48	80
	業務委託事業者数	5	5	4	4	4	4	26	5	5	5	5	4	5	29	55
指定介護予防支援実施状況	介護予防支援事業件数	95	96	99	96	98	97	581	99	102	102	100	102	100	605	1186
	内、業務委託件数	17	17	16	15	16	18	97	15	14	14	14	15	13	85	182
	業務委託事業者数	5	5	5	5	6	6	32	5	5	5	6	7	6	34	66
認知症総合支援事業	認知症カフェの実施回数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	24
	参加者数	20	21	20	11	16	19	107	30	25	29	16	24	14	138	245
フレイル予防教室	はつらつ健康教室の実施回数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	24
	参加者数	57	53	60	53	55	60	338	54	66	48	59	45	47	319	657
一般介護予防教室	一般介護予防教室などの実施回数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	3	3	2	14	26
	参加者数	65	67	64	69	74	73	412	68	62	69	76	71	52	398	810

1 障がい者就労支援センター

担当

相談支援課

令和5年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

障がい者の就労機会の拡大を図るとともに障がい者が身近な地域において安心して働き続けられるよう、就労促進を行うことにより、障がい者の自立と社会参加を図ることを目的として、日高市障がい者就労支援センター「えるむ」を運営します。

本年度は、障がい者が希望する職種や、就労能力に合致した職種選択を念頭に、積極的に就労アセスメントを実施しました。その結果、客観的で的確な企業選択が可能となりました。

就労定着支援は、訪問頻度の向上ときめ細かいモニタリングに努めた結果、支援回数は2,372回（昨年度1,238回）実施し、副次的効果として企業連携強化につながりました。

（支援項目）

- ① 職業相談
- ② 就労準備の支援
- ③ 職場開拓
- ④ 職場実習の支援
- ⑤ 職場定着の支援
- ⑥ 離職時の調整及び離職後の支援

【内容及び実績】

支援項目	身体	知的	精神	合計	4年度
新規相談件数	9	11	25	45	31
新規登録件数	3	6	17	26	15
登録抹消件数	1	5	2	8	22
職場見学人数	1	13	25	39	31
企業面接人数	1	5	18	24	31
職場実習人数	0	5	10	15	25
一般就労人数	1	8	15	24	31
継続支援 A 型人数	0	0	0	0	1
休職人数	0	0	0	0	2
復職人数	0	0	0	0	2
離職人数	2	7	10	19	10
就労アセスメント	2	4	11	17	0

【成果と課題】

就労者数を増やすためには、いかに就労準備性を整えるかが採否のポイントになります。新規登録者数は、昨年より11名増えましたが、見学、実習などの就労活動まで進むことができる登録者が少ないのが現状です。更に就労移行支援事業所から一般就労を目指す障がい者が少ないことも課題と言えます。特に今年度は、離職者の減少に注力しましたが、体調の変化が大きい精神障がいの方の離職が多いため、引き続き企業からの理解を得ながら連携を強化し、精神障がいの方が働きやすい環境調整に努めます。

1 生活困窮者自立相談支援事業

担当 相談支援課

令和5年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業
- ① 自立相談支援事業
アセスメントによりプラン案の作成、支援調整会議の実施
 - ② 自立相談支援事業による就労支援
 - ③ 住居確保給付金の支給
 - ④ 生活困窮世帯の子どもの学習支援
 - ⑤ 無料職業紹介事業
 - ⑥ 職員の資質向上のための研修受講
- (2) 地域づくり・地域連携業務（相談支援体制包括化の推進）
行政、関係機関、市民との連携を進めます。
- ① 普及・啓発促進
 - ② 新たな社会資源の検討・その他情報の活用と連携
 - ③ 生活の困りごとなどの出前相談
- 【再開】
- ④ フードバンク・フードドライブの実施
 - ⑤ フードパントリーの定期開催
 - ⑥ おむつの提供（不定期）【新規】

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業
- (2) 地域づくり・地域連携業務（相談支援体制包括化の推進）
生活困窮者等の自立と尊厳の確保に向けた相談支援を行いました。

【内容及び実績】

相談実績		支援実績		周知	
相談受付	160	調整	1039	出前相談	8
プラン作成	40	相談支援	1402		
		同行支援	34		
		食糧支援	110		

【成果と課題】

- ① 新規相談受付件数は160件と、令和3年度の229件、令和4年度の194件と比べると減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の状況に戻りつつあるものと思われます。
- ② 複合課題を抱えた世帯、物価高騰の影響を受けている高齢者世帯からの経済的な相談が増えています。
- ③ 住居確保給付金の新規申し込みは2件でそのうちの1件が受給決定となっています。
- ④ 生活応援としてフードパントリーを8回実施し、延べ1,204世帯へ食の支援を行い、個別の食料支援についても延べ110世帯への支援を行いました。また、必要な世帯に生理用品の提供も行いました。フードパントリーが周知されたことで高齢者世帯からの申込みも増加しており、物価高騰の影響などから世代を問わず食の支援を必要とする世帯が増加しています。
- ⑤ 食料支援については、希望者が増え続ける中、企業などからの寄付が減少しており、今後の食料確保が課題となっています。
- ⑥ 地域住民や市内企業から寄付で集まったおむつ等の有効活用として介護用おむつの提供会を2回実施し、延べ34世帯へ支援を行うことができました。

2 生活困窮者就労準備支援事業		担 当	相談支援課
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題		
生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して、就労に向けた準備としての基礎能力の形成からの一貫した支援を計画的に実施します。	<p>様々な理由により、社会参加へのブランクのある人に対して、段階を踏んだ支援を行いました。</p> <p>【成果と課題】</p> <p>ひきこもり状態の方についての相談は 10 件ありました。主にご家族からの相談ですが、対象者は、女性が 2 名、男性が 8 名と男性の相談が圧倒的に多く、年齢については、女性が 10 代と 30 代に対して、男性については、30 代が 1 名、40 代が 3 名、50 代が 4 名と中高年の相談が多い傾向です。就労準備事業の利用実績については評価時点で 3 件となっており、家族からの相談はありますが、実際に本人の支援につながるまでには至らないことも多いことが課題となっています。</p>		

3 生活困窮者家計改善支援事業		担 当	相談支援課
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題		
生活困窮者自立支援法に基づき、家計に課題を抱える生活困窮者に対して、必要な情報の提供または専門的な助言、指導等を行うことにより、生活困窮者自身の家計を管理する能力を高め、早期に生活が再建されるよう支援します。	<p>生活困窮者の多くが家計管理に課題を抱えているため、初期相談の段階で把握を行い、改善に向けた助言・支援を行い、状況により弁護士への債務整理相談や、貸付への連携支援を行いました。評価の段階での利用実績は 34 件と、新規相談件数の減少に伴い前年度の 46 件から減少しています。</p> <p>【成果と課題】</p> <p>昨年度に引き続き、柔軟な利用が可能であった新型コロナウイルス感染症の影響による減収世帯への特例貸付について、利用した世帯から再度貸付を利用を希望する相談が多数ありました。根本解決のための支援を提案しても本人が望まないこともあり、改善が困難な状況も多くありました。</p> <p>複合課題のひとつとして多重債務を抱えている世帯も</p>		

多く、債務整理について検討し弁護士につなげ連携した支援を行いました。

物価高騰の原因により、年金だけでは生活ができないという高齢者からの相談も増加していますが、年齢での就労困難な状況や、原資の不足から家計改善支援での改善が望めない場合も多いため、個別の食糧支援や定期的に開催しているフードパントリーの活用が重要な役割を果たしていると思われます。

公益事業		
IV 生活支援体制整備事業		【市受託事業】
1 生活支援体制整備事業	担当	地域福祉課地域福祉担当
令和5年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
<p>(1) 高齢者生活支援の現状・課題の共有の機会づくり</p> <p>① 第1層協議体の運営</p> <p>生活支援等サービスの体制整備に向けて、多様な主体の参画を進めるため、生活支援コーディネーターと多様な活動団体等が参画する情報の共有・連携強化の場として設置する第1層協議体を運営します。</p> <p>② 生活支援コーディネーター連絡会議（SCブレイク）</p> <p>③ 近隣市町との生活支援体制に関する情報交換</p> <p>(2) ニーズと現状の把握</p> <p>① 地域ニーズ調査の支援</p> <p>② 訪問による実態把握</p> <p>③ ケアマネジメント型地域ケア会議でのニーズ把握</p>	<p>(1) 高齢者生活支援の現状・課題の共有の機会づくり</p> <p>① 第1層協議体の運営</p> <p>多世代協働の地域で支え合う活動をテーマに鶴ヶ島市における中学生によるごみ出しボランティアの事例をもとに、学習会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 令和6年3月7日(木) ・場所 市総合福祉センター ・講師 鶴ヶ島市社会福祉協議会職員 <p>② 生活支援コーディネーター連絡会議（SCブレイク）</p> <p>第2層生活支援コーディネーターとの連絡会議を毎月開催し、情報共有に努めました。</p> <p>③ 近隣市町との生活支援体制に関する情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県社協から情報提供 ・他市町村の事例について聞き取り調査 <p>(2) ニーズと現状の把握</p> <p>① 地域ニーズ調査の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横手台のデマンド交通について聞き取り調査 <p>② 訪問による実態把握</p> <p>各種会議等（以下）への出席や各種取組への訪問を通じて、地域のニーズ把握に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域おたすけ隊（5隊）会議 ・地域おたすけ隊コーディネーター会議（年4回） ・ケアマネジメント支援型地域ケア会議（年12回） ・第2層協議体（高萩団地、こま川団地、東急こま川、原宿、武蔵台） ・地域ケア会議（こま川団地、東急こま川、原宿、武蔵台、横手台、高麗） ・こま武蔵台福祉ネット定例会議（隔月） ・傾聴ボランティア団体定例会 ・ガイドヘルプボランティア団体定例会 <p>③ ケアマネジメント支援型地域ケア会議でのニーズ把握</p>	

(3) 担い手養成に向けた取組

① 地域支え合いの取組に関する助言

② 地域支え合いの取組の実施地域の拡大に向けた啓発

③ 地域支え合いの意識啓発(地域福祉教育の推進)

④ 画像活用による地域支え合い活動の見える化推進【新規】

(3) 担い手養成に向けた取組

① 地域支え合いの取組に関する助言

- ・既存サロンから運営等の相談
(ひまわり会、ふれあいサロン、横手サロン)
- ・既存サロンの再開に向けた相談
(台、おしゃべりサロン協力会)
- ・新規サロン立ち上げについての相談(梅原元組交流サロン・手作り小屋(飄々亭)の活用相談)

② 地域支え合いの取組の実施地域の拡大に向けた啓発

・地域おたすけ隊準備会(鹿山上)

③ 地域支え合いの意識啓発(地域福祉教育の推進)

- ・運転協力者認定講習会日高市開催
- ・地域おたすけ隊説明会(四本木陽だまりの会、野々宮区、高萩団地第2協議体)
- ・ボランティア養成講習会(傾聴、朗読)
- ・たかねサロン、ふれあいサロン、ひまわり会
四本木陽だまりの会、台交流サロン、梅原元組交流サロン、UR地域の集い、ウエルカフェ(ウエルシア薬局)、シニアクッキング

④ 画像活用による地域支え合い活動の見える化推進【新規】

動画を活用した説明資料の作成を進めました。

【成果と課題】

第2層生活支援コーディネーターと連携し、地域おたすけ隊など地域支え合いの取組の拡大を図りました。

地域の担い手の高齢化などもあり、若年層を含めた多世代へのアプローチが課題です。